

消費税抜き処理について

建設業.NET では「工事経歴書」「直前3年の施工金額」「工事種類別完成工事高」「財務諸表作成部」の機能にて消費税抜き（工事経歴書のみ消費税足し）処理を行うことができます。

それぞれ入力時は「消費税込み金額」を入力することで印刷時に消費税抜き処理を行います。

<重要>

工事経歴書印刷時に『工事毎に消費税抜き（足し）処理を行う（着工/完成年月で判定）』にチェックを入れて印刷することで、「直前3年の施工金額」や「工事種類別完成工事高」の消費税抜き金額を一致させることができます。

工事毎に消費税抜き(足し)処理を行う(着工/完成年月で判定)

◆工事経歴書、直前3年の施工金額、工事種類別完成工事高の金額を合わせる手順

例) 決算期間（印刷する期間）平成31年1月～令和1年12月

A工事・・・着工年月：平成31年1月／完成年月：平成31年3月 → 3月以前完成（消費税8%）

B工事・・・着工年月：平成31年3月／完成年月：令和1年12月 → 3月以前着工（消費税8%（経過措置））

C工事・・・着工年月：令和1年10月／完成年月：令和1年12月 → 10月以降着工（消費税10%）

・工事経歴書

◇入力画面（税込み金額で入力します）

削除	業種コード	注 文 者 (全角9文字×3行) 「Shift」+「Enter」で改行	元請 下請 (○次)	J V	工 事 名 (全角17文字×3行) 「Shift」+「Enter」で改行	工事場所 場所名	配置技術者 (ダブルクリック→選択 画面が開きます)	請負代金 うち()	クイック 入力	着工年月		印刷
	その他									完成年月		
▶ 削除	1 (土) ▼	A工事	民元 ▼	□	ビルダ 8%	0 国土交通 ▼	主 監 □	1,000,000	□	平成31/01	平成31/03	☑
	□									平成31/03		
▶ 削除	1 (土) ▼	B工事	民元 ▼	□	経過措置(8%)	0 国土交通 ▼	主 監 □	1,000,000	□	平成31/03	令和01/12	☑
	□									令和01/12		
▶ 削除	1 (土) ▼	C工事	民元 ▼	□	10%	0 国土交通 ▼	主 監 □	1,000,000	□	令和01/10	令和01/12	☑
	□									令和01/12		

◇印刷（印刷オプション：「税抜き（÷1.10）」「工事毎に消費税抜き～判定」にチェック）

工事	元請	税率	金額	消費税額	消費税抜き金額	着工年月	完成年月
A工事	元請	8%	925,926 千円	74,074 千円	1,000,000 千円	平成31年1月	平成31年3月
B工事	元請	経過措置(8%)	925,926 千円	74,074 千円	1,000,000 千円	平成31年3月	令和1年12月
C工事	元請	10%	909,091 千円	90,909 千円	1,000,000 千円	令和1年10月	令和1年12月

◇計算内訳

A、B工事・・・ $1,000,000 \times (8 \div 108) = 74,074$ （小数点以下切り捨て）←消費税額

$1,000,000 - 74,074 = 925,926$ ←消費税抜き金額

C工事・・・ $1,000,000 \times (10 \div 110) = 909,09$ （小数点以下切り捨て）

$1,000,000 - 90,909 = 909,091$ ←消費税抜き金額

合計・・・ $925,926 + 925,926 + 909,091 = 2,760,943$

・直前3年の施工金額

◇入力画面

- (1) 事業年度欄を「自：平成31年1月1日」「至：令和1年12月31日」とし、画面下部にある「選択中の行(期間)の工事経歴書のデータを持つてくる」ボタンを押下します。

直前3年の施工金額

許可業種だけを表示する(G) 小数点以下第一位まで表示する

事業年度		許可に係る建設工事の施行金額			
		(土)	PC工事	その他	合計
第 15 期 自動	元請	公共	0	0	0
	元請	民間	0.000	0	0
	下請		0	0	0
	計		0	0	0
* 第 0 期 自動	元請	公共	0	0	0
	元請	民間	0	0	0
	下請		0	0	0
	計		0	0	0

※ 全て単位は千円です。(円単位で入力している場合は、印刷時に1/1000にするオプションを選択して下さい。)
 ※ 印刷時に各金額や合計欄の出力を選択できます。※ 小数点以下を表示しない場合は、小数点以下が四捨五入されて表示されます。
 ※ 「Ctrl」+「Del」キーで、選択行を削除します。

選択中の行(期間)の工事経歴書のデータを持つてくる(K) 印刷(P) キャンセル 登録(C)

- (2) 「工事経歴書データを取り込みます。よろしいですか？ (はいいいえ)」と確認メッセージが表示されますので、「はい」を選択します。その後、請負金額の単位の確認メッセージが表示されますので、「はい」を選択してください。

第 15 期 自動	元請	公共	0	0	0
	元請	民間	2,760,943	0	2,760,943
	下請		0	0	0
	計		2,760,943	0	2,760,943

上記画面のように、工事経歴書と同じ合計額が表示されます。

工事経歴書データ読み込み時に、工事経歴書と同じ計算内訳で工事業毎に消費税抜き金額を算出しています。

◇印刷

工事経歴書印刷オプション：「税抜き (÷1.10)」「工事業毎に消費税抜き～判定」にチェックがされているため、既に消費税抜き金額が入力画面に反映しているため税処理オプションは選択できません。入力画面の値 (2,760,943) で印刷に反映します。

・工事種類別完成工事高

◇入力画面

(1) 決算期間をそれぞれ下図のように設定し、画面下部にある「直3データ読込」ボタンを押下します。

入力：工事種類別完成工事高

基本情報 オプション情報

決算期間	今期	前期	前々期	前々々期	前々々々期	前々々々々期
	平成31/01	令和01/12	平成30/01	平成30/12	平成29/01	平成29/12
			平成28/01	平成28/12	平成27/01	平成27/12
				平成26/01	平成26/12	

※今期～前々々々々期には決算期間を入力して下さい。 ※その期の決算日が月末では無いときに、チェックを付けます。

平均方法 2年 3年

業種	内訳	業種名	完工高	元請	今期完工高	前期	前々期	前々々期	前々々々期	前々々々々期
0	0		0	0	0	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	0	0	0

積上 ※今期～前々々々々期にはその期の完成工を入力して下さい。 ※「Ctrl」+「Del」キーで、選択行を削除します。

経過措置を反映させる(～2019/05/31まで)

経過措置	完工高	元請	今期完工高	前期	前々期	前々々期	前々々々期	前々々々々期
とび・土工・コンクリート工事・解体工事(経過措置)								

その他工事	完工高	元請	今期完工高	前期	前々期	前々々期	前々々々期	前々々々々期
			0	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	0

契約後VEに係わる完成工事高の評価の特例 有 無

直3データ読込(A) ←1期戻す(R) 1期進める→(S) 合計確認(T) 印刷(P) キャンセル 登録(O)

(2) 下図の読み込みオプション画面で「税抜き処理をする」のチェックが外れていることを確認して「決定」ボタンを押下します。

工事種類別完成工事高：自動読み込みオプション

経営事項審査申請書の審査対象業種を読み込む
審査対象業種に選択されている業種の行が追加されます。
既に存在する業種については追加されません。

直前3年施工金額からデータを読み込む
 読み込むデータの範囲
 今期(一番新しい決算期間のデータを読み込みます)
 全て(今期から前々々々々期まで可能な限り)

税抜き処理をする(端数は切り捨て)
 金額を1/1000にする(端数は切り捨て)

決算期間を自動計算する
決算日から計算します。
直前3年施工金額からデータを読み込む場合は、読み込むデータの決算期間を適用します。

期の繰越処理をする(今期を前期に、前期を前々期にスライドさせます。)

キャンセル 決定

(3) 読み込み時に税抜き処理をしていないため、直前3年の施工金額の金額 (2,760,943) がそのまま反映します。

印刷	業種	内訳	業種名		今期完工高
<input checked="" type="checkbox"/>	1 ...	0 v	土木一式	完工高	2,760,943
				元請	2,760,943
<input checked="" type="checkbox"/>	1 ...	1 v	プレストレストコンクリート構造物	完工高	0
				元請	0

◇印刷

工事種別完成工事高では印刷時の税抜き処理が無いため、入力画面の金額がそのまま反映します。

以上の手順で、工事経歴書、直前3年の施工金額、工事種別完成工事高それぞれの金額を一致させることが出来ます。

尚、財務諸表作成部でも消費税抜き処理を行うことが出来ますが、財務諸表作成部では工事毎の計算が出来ず、決算期間（合計額）からの割合計算となります。その為、工事経歴書、直前3年の施工金額や工事種別完成工事高の合計額と一致しない場合があります。その場合はお手数ですが建設業.NETでの消費税抜き計算を行わず、税抜き金額を入力・印刷を行うようお願いいたします。

◆決算期間（合計額）からの割合計算について

財務諸表作成部では決算期間から消費税率8%の期間と10%の期間を算出し、その割合で税抜きを算出します。

- (1) 「平成31年1月1日～令和1年12月31日」の決算期データを追加します。
また、財務諸表の種類を「R01年10月改正様式（消費税率改正版）」を選択します。

- (2) 基本設定画面を開くと下図のように決算期間から各税率の対象期間が表示されます。

自動: 改正日を基準とし決算期間から自動算出します

基準日及び算出期間

消費税改正日: 令和元年10月01日	消費税8%期間: 9ヶ月
決算期間: 平成31年01月01日～令和01年12月31日	消費税10%期間: 3ヶ月

手動: 案分比率を入力して算出します

(3) 損益計算書入力画面の完成工事高に「3,000,000」と税込み金額を入力します。

区分	科目名	細目名	金額(円)	注
売上高	完成工事高	完成工事高(消費税対象)	3,000,000	税
		完成工事高(非課税)		
			3,000,000	
	兼業事業売上高	兼業事業売上高(消費税対象)		税

(4) 損益計算書印刷プレビューで完成工事高が「2,765,153」と税抜き金額が表示されます。

				円
I	売上高			
	完成工事高		2,765,153	
	兼業事業売上高			
II	売上高			2,765,153

◇計算内訳

- ・消費税8%の期間9ヶ月 (0.75)

$$3,000,000 \times 0.75 = 2,250,000$$

$$2,250,000 \times (8 \div 108) = 166,666 \text{ (小数点以下切り捨て)}$$

- ・消費税10%の期間3ヶ月 (0.25)

$$3,000,000 \times 0.25 = 750,000$$

$$750,000 \times (10 \div 110) = 68,181 \text{ (小数点以下切り捨て)}$$

$$166,666 + 68,181 = 234,847 \text{ ←消費税額}$$

$$3,000,000 - 234,847 = \underline{2,765,153} \text{ ←消費税税抜き金額}$$

以上のように算出されます。想定した値にならない場合はお手数ですが、税抜き決算書をご用意いただき、財務諸表作成部の基本設定で「税抜き→税抜き」で設定し、税抜き処理を行わない設定でご利用ください。また、工事経歴書と直前3年の施工金額でも決算期間からの割合計算を行うことが出来ます。

○工事経歴書の場合

印刷オプション画面で「工事毎に消費税抜き（足し）処理を行う（着工/完成年月で判定）」のチェックを外して印刷を行います。

○直前3年の施工金額

工事経歴書印刷オプション画面で「工事毎に消費税抜き（足し）処理を行う（着工/完成年月で判定）」のチェックを外して印刷を行った後、直前3年の施工金額画面下部にある「選択中の行（期間）の工事経歴書のデータを持ってくる」ボタンを押下します。

この場合、入力画面では税込み金額を読み込みますので、直前3年の施工金額印刷オプションにて『税抜き』にチェックを入れて印刷を行います。

○工事種別完成工事高

工事種別完成工事高入力画面下部にある「直3データ読込」ボタンを押下し、『税抜き処理をする（端数は切り捨て）』オプションにチェックを入れて「決定」ボタンを押下します。